



加斗っ子だより

令和3年度 第7号

R3.12.23

文責：田中



人権週間に考える

12月4日から10日までの「人権週間」に合わせて、学校では人権についての様々な学習に取り組みました。小浜市人権擁護委員の方に2年生から5年生を対象とした人権紙芝居をしていただいたり、人権課題の一つである拉致問題について、6年生が拉致被害者の地村保志さんから拉致問題啓発講座として当時の様子や今の心境などを直接聞かせていただいたりしました。各学年では道徳や学活の時間に、いじめや仲間はずし、命の大切さなどについて学び、自分たちにできることを考えました。

私からは、全校集会で「人は幸せになるために生きている。」というテーマで話をしました。今の地球では、人類が社会という集団の中で生きています。一人一人が自分の幸せを求めて生活していますが、その自分の幸せを作る・守るために、集団の中ではいじめや差別などを起こしやすいということを自覚して行動することが大切だと話しました。子ども達からはよく、『普通に〇〇したら相手が泣いてしまいました。』などという話を聞きます。しかし子ども達の言う普通の〇〇に愕然とすることがあります。『普通に順番をとばしたら・・・』『普通にたたいたら・・・』といった感じです。到底普通とは思えない考えや行動が、自分の中では普通と感じていることがあるようです。(間違いを意識していても自分を守るために普通という言葉で正当化しようとする部分もあるでしょう。)

低学年には少し難しいかもしれませんが、年齢が進むにつれて「何が本来の普通で、何がいけないことなのか」をしっかりと見極めるためにも『メタ認知能力』をつけてほしいと話しました。今の自分をちょっと高いところから冷静に見つめて分析する力。文字で書いたり言葉にしたりするとややこしいかもしれませんが、『これをするとうなる？自分は、相手はどんな気持ちになる？』というようなことを頭の中でめぐらせてみて、自分の行動に生かすといった力でしょうか。簡単に身につくような力ではありませんが「人は幸せになるために生きている。それは自分も相手も一緒。」と考えられる子ども達に育ててほしいと願っています。

2学期の終了にあたり

いよいよ明日12月24日から冬休みです。今日の終業式では「家で自分の仕事をもつ」ことについて話をしました。年末のあわただしい日々ではありますが、子ども達が家庭での役割を担うことができる時期です。自己肯定感を高めるためにも、ぜひご家庭での仕事を意識的に作ってください。できれば年末だけに終わらず、毎日できる仕事になっていくといいですね。

継続！ 新型コロナウイルス感染症予防

令和3年も残り少なくなりましたが、今年も新型コロナウイルス感染症のために学校の活動も制限をせざるを得ない1年となってしまいました。来年こそ収束に向かい子ども達がより生き生きと生活できる日が来ることを願うばかりです。

さて、現在は少々落ち着きを見せている新型コロナウイルス感染症ですが、年末年始の人の移動や気候面、さらに変異株の発生などからも再流行が懸念されます。県からも冬季休業中の感染症対策の継続について、次のような注意点が発表されておりますので、今一度ご確認ください。

- 検温等で体調確認を心がけ、体調不良の場合は不要不急の外出を控える。
- 発熱等の症状がある場合は、かかりつけ医・最寄りの医療機関に電話で相談する。
受診・相談センターの電話は 0776-20-0795
- 十分な睡眠・適度な運動・バランスのとれた食事を心がける。
- できるだけ人ごみを避け、「おはなしはマスク」を継続する。
- 外出先からの帰宅時等こまめに石けんで手洗いを行うほか、換気を行う。
- 帰省や旅行などで県外との往来後は体調管理に注意する。安心して往来するためにもワクチン接種は有効。
- 児童生徒の感染経路の多くは家庭内感染であるため、地域において感染者数が増加した場合には、家庭において細心の注意を払う。

卒業式について

令和3年度加斗小学校卒業証書授与式は、令和4年3月16日(水)に決定しました。6年生保護者様への正式なご案内は、年が明けましたらさせていただきますので、よろしくお願いします。

それでは皆様、よいお年をお迎えください。

